

令和7年度第1回銚子市ゼロカーボンシティ推進協議会 議事録

<開催概要>

日 時：令和7年12月17日（水）15：30～17：00

場 所：銚子市役所1階市民ホール

出席委員：会 長 木村 栄宏（千葉科学大学）

副会長 伊藤 剛康（銚子信用金庫）

委 員 赤 坂 修（一般社団法人銚子市観光協会）

〃 辻 勝美（銚子市漁業協同組合）

〃 山 崎 偉広（銚子商工会議所）

〃 尾 辻 廣（地球温暖化防止活動銚子）

〃 坂井 斉之（ヤマサ醤油株式会社）※オンライン参加

〃 小 野 航（三菱商事株式会社）

〃 新谷 一将（銚子電力株式会社）

〃 濱口 浩幸（ヒゲタ醤油株式会社）

〃 田中 健志（銚子商工信用組合）※オンライン参加

〃 宮内 彰子（千葉県建築士会銚子支部）

欠席委員：委 員 伊藤 秀晃（一般社団法人銚子青年会議所）

〃 佐野 恭子（銚子市町内会連合協議会）

〃 山口 正行（ちばみどり農業協同組合）

事 務 局：飯 笹（銚子市 企画課）

八角、林、大木、久保田（銚子市企画課洋上風力推進室（市））

<議事内容>

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 市長挨拶

4. 講演「銚子の気温などの変化について」銚子地方气象台 山田 隆徳

5. 議題

銚子市ゼロカーボンビジョンの進捗状況について

（1）2024年度銚子市ゼロカーボンビジョン年次報告について

（2）今年度の取組状況について

（3）その他

6. 閉会

＜配付資料＞

- 資料 1 銚子市ゼロカーボンシティ推進協議会名簿
- 資料 2 2024 年度銚子市ゼロカーボンビジョン年次報告書
- 資料 3 脱炭素先行地域計画提案概要
- 資料 4 銚子市事業承継・創業支援ラボ運営協議会について
- 資料 5 銚子市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金（チラシ）
- 資料 6 みんなのおうちに太陽光（チラシ）
- 資料 7 ちば・ひかりスイッチ（チラシ）
- 講演資料 銚子の気温などの変化について
- 参考資料 銚子市ゼロカーボンシティ推進協議会の概要

＜議事＞

1. 開会

- ・開会にあたり、事務局より挨拶を行った。
- ・委員 15 名のうち 12 名（内 2 名がオンライン）が出席しており、銚子市付属機関の設置等に関する条例第 6 条第 2 項の規定により会議が成立。

2. 委嘱状交付

- ・市長より新たに就任した小野委員に対し委嘱状の交付を行った。
- ・委嘱状の期限は白井委員の残任期間（令和 8 年 9 月 30 日まで）とする。

3. 市長挨拶

- ・（銚子市長）銚子市は地球温暖化対策を推進するために、2021 年 2 月にゼロカーボンシティを表明し、2023 年 3 月に銚子市ゼロカーボンビジョンを策定している。ビジョンでは銚子市の風の強さ、日射量の多さなどを活かした、再エネの導入目標を設定し、脱炭素化へのシナリオを描いている。省エネの取組、再エネ電源を増やし、再エネ電力を使う創エネの取組、化石燃料の使用を減らすエネルギーシフトの取組、こうした取組を明記している。今年 3 月には計画の実効性、効果を高めるために、ゼロカーボンビジョンを改訂した。本日の協議会では 2024 年度の年次報告、今年度の取組状況などを説明させていただく。また、現在エントリーしている脱炭素先行地域の取組についても説明をさせていただく。これまでも述べてきたが、ゼロカーボンシティは行政の力だけで実現することはできない。市内の企業、団体、市民、地域が一体となりビジョンを共有し、企業経営、市民生活など様々な場面で脱炭素化の考え方を取り入れ、実践することが求められている。ゼロカーボイシティを着実に前進させるためにも、活発な意見、提案をいただきたい。

4. 講演「銚子市の気温などの変化について」

- ・銚子地方気象台（調査官 山田隆徳氏）より講演をいただいた。
- ・（尾辻委員）気候変動はどのようなところに現れているか。
→（山田氏）先日、アイスランドで蚊が出たという記事が出た。極端な気象は日本だけではなく、全世界に広がっている。
- ・（濱口委員）銚子はこれまで涼しいと言われてきたが、ここ最近は暑い。千葉の各平均上昇温度と比べると銚子の上昇温度の幅はやや小さい。銚子も暑くなっているが他が暑くなっており、やはり銚子は涼しいと言えるか。
→（山田氏）東京と比べると上昇率が小さく、涼しいということは間違いない。
- ・（木村会長）10年に1回程度大雪が降ることがあるが、今後はあり得ないか。
→（山田氏）南岸低気圧で雪が降る可能性はある。冬の上昇率は1番小さく、寒気が落ちてくるが、冬の期間が短くなっている。12月末から1月はあまり変わっていない。なくなることはないと思う。

5. 議題

ゼロカーボンビジョンの改定について

（1）2024年度銚子市ゼロカーボンビジョン年次報告について

- ・事務局より資料2の説明を行った。
- ・（赤坂委員）銚子市として、電気自動車の充電設備の計画はどうなっているか。
→（事務局）導入計画が現時点ではない。公用車については順次変えていく予定である。
- （赤坂委員）電気自動車に変えようとする方は多いが、充電できないことが課題としてある。災害対策や観光対策の上でも必要である。市としてやっていただきたい。次に、洋上風力と連携して銚子創生を実現するという中で、新しい事業者に対して、市民のために何ができるのか。例えば電気代を安くするために、洋上風力の2本程度を銚子市のために使うなど、銚子電力と新しい事業者で電気の供給会社をつくり、市内は洋上風力の電気で家庭、産業の全てを賄っていくような計画を持っていただきたい。次に、再生可能エネルギーの発電量が出ているが、地元で作った電気は地元で使っていくことを考えながら進めていただきたい。例えばFIT終了後、銚子で使えるようなことを考えていただきたい。
- ・（宮内委員）排出係数はどうして高くなっているのか。
→（新谷委員）排出係数は、電気事業者が電気を作り出すのにどれだけのCO₂を排出したかという数値で、毎年、1年間の実績をもって決まる。例えば2023年度の実績で出された排出係数を2024年度にするとということで、1年遅れで決まっていく。多くの電気事業者は電力市場から買っている。市場の排出係数が高いとき、低いとき、且つ購入が多いか売却が多いかによって、各社の排出係数はランダムに変化する。火力発電所やCO₂の排出量が多いところから仕入れたわけではない。制度の計算の在り方で変動してしまう。
- （濱口委員）弊社でも毎年係数が変わるのはわかっているが、使用している電力量の非化石証明書を買っている。そうすれば係数に左右されることはなくなる。

→（事務局）今現在、公共施設の約 15%は市内の陸上風車で発電された電気に非化石証書を付けて小中学校、市立高校に供給している。同じような取組を進めていきたい。

（２）今年度の取組状況について

- ・事務局より資料３から７の説明を行った。

- ・（尾辻委員）市長挨拶の中で、ＣＯ２削減の取組については企業、個人、家庭の協力がなければ実現できないとあった。具体的にどう進めていくかまいちはっきりしない。再生可能エネルギーをどう取り組むか。家庭部門においては、それぞれが自宅の環境家計簿を行う。事業所もどのようにＣＯ２を出しているか、同様に環境家計簿をつけ、企業名を伏せた上でこの会議に出していただければ、もっと有意義な会になるのではないかと。

→（事務局）意見を承る。色々な意見をいただきながら次の施策に移っていくことが必要と考える。

→（尾辻委員）地球温暖化防止活動銚子として、事業者の優良事例を探しているがなかなか難しい。事務局には、優良事例を広げていただきたい。年明け２月２８日に、ゼロカーボンシティの環境講座を行うので、是非参加いただきたい。

- ・（赤坂委員）脱炭素先行地域で期待される主な効果について、これだとアピールが足りない。どこの市町村でも人口減少が進んでいる。風力発電により電気代が下げられれば、銚子市は電気代が安いということで人口が増えるかもしれない。電気を使う企業も銚子に来る。再エネを使うのであれば、そこまでの効果を出して、銚子を活性化する形にもっていただきたい。銚子市は水産業のまちである。銚子の水産業をこう変えていくなどを載せていくとより意義があるのではないかと。

→（事務局）まだ計画段階のため、採択されれば実行に移り、その段階では取り入れながら計画を推進していきたい。

→（木村会長）採択されなかった場合はどうなるか。

→（事務局）採択されない場合、風力の計画自体が難しいが、すでに動いている事業承継・創業支援ラボの取組などもあるため、できる取組は継続して行っていく。

- ・（小野委員）市民を巻き込んでいくということであると、目標に達していないところが多いように思う。市から補助金を出したとか、告知をし、増やす取組を考えているか。

→（事務局）既存の補助制度については、チラシを作成し、金融機関窓口への配架などを行っているが、周知はまだまだの部分もあるため、委員の皆様のご協力をいただき広めたい。それ以外のゼロカーボンに資する補助制度については、アイディアとしてはあるが、実装するときには国や県の制度を活用して、市民ニーズを把握しながら進めていきたい。

- ・（辻委員）Ｃ－ＣＯＷＳを主体に銚子商業で出前授業を行っているが、これからは中学生向けに環境教育を進めていきたい。

- ・（山崎委員）商工会議所では、脱炭素先行地域から事業承継・創業支援ラボ、漁協のブル

ーカーボンの取組などと連携しているが、できることはやっていきたい。

- ・（伊藤副会長）事業承継・創業支援ラボの会長を務めている。ラボでは、銚子市の総合戦略である仕事づくりという点で、事業承継で減らさない、そして創業で増やす、それを脱炭素をきっかけにという理屈である。活動の内容は、3カ月に1回程度全体会議を行っている。4つの部会があり、農林水産商工部会は、銚子市の強みである一次産業を活用した脱炭素の模索。シティプロモーション部会は、銚子に行こうというプロモーションを考え、地域商社を作ったり、インキュベーション施設という創業者が集う場所づくりを企画している。事業承継金融部会は、事業承継の支援を検討している。ゼロカーボン推進部会は、まさにど真ん中の部会であるが、本日、環境省から昨年度の活動について報告せよということで、昨年度の活動の結果、ラボの活動で中小企業の行動変容があった事例があれば教えてほしいということであったが、情報がなく、今はまだないという報告を行った。まだ企画段階ではあるが、ゼロカーボンのアワードを行いたいと考えている。取り組んでいる事業があれば紹介いただきたい。
 - ・（尾辻委員）若い方にどのように啓発活動を行っていくのか。昨年度は中学校で气象台から提供いただいたポスター展示を行った。今年は小学校で計画している。また、高校生との意見交換ができればと考えている。オブザーバーでもいいので、一緒にできればと思う。
- （伊藤副会長）そのような場があれば参加いただきたい。

以上